

項目	仕様案	理由、特徴
車両タイプ	(案の1) 新型ハイブリッド 気動車	○ディーゼルエンジンと発電機に加え、蓄電池を用いて モーターを駆動させ、走行するタイプの気動車
	(案の2) 電気式気動車	○ディーゼルエンジンと発電機で発電した電力によりモーターを駆動させ、走行するタイプの気動車
編成両数	2両編成 (2両・4両で運用)	○2両又は4両で需要に対応することができ、3両編成として別途設計、製造する必要性が薄い
貫通構造 の有無	貫通あり 	○連結運転時に事故や車内での異常発生時に円滑な避難誘導、状況確認が可能になるなど安全性が確保される
シート構成	セミクロスシート 転換式(一部固定)の クロスシート + ロングシート 	○多くの乗客が進行方向に着座が可能となる等、より快適な移動が可能 ○従来の利用者に加え、観光客に対しても、利用したいと感じてもらえるイメージの創出に寄与 ○補助席を設けることができ、座席数を確保しつつ混雑時には折り畳んでより多くの乗客が乗車することが可能

新型車両の基本仕様について

項目	仕様案	理由、特徴
床面高さ	約1,155mm (521系※と同等)	○車両入口をステップなしとし、現行の城端線・氷見線(キハ40・47系※)にある車内の段差を解消
車両長	21.3m (キハ40・47系と同様、 20m／両以上を確保)	○新型車両は、521系(電車)に比べて床下に配置する機器が多いため、車両長を確保して収納 ○車内空間をより広くして乗車定員を確保
ドア	両側各3か所 (両開き) (521系と同等) 	○出入口が現行車両(2か所)に比べて増えるため、混雑時のよりスムーズな乗降が可能となるほか、ドア付近での乗客の滞留の軽減により、利便性・快適性の向上が図られる。

※521系・・・現在あいの風とやま鉄道の主力として運行している電車

※キハ40・47系・・・現在城端線・氷見線を運行している気動車